

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、10月21日（金）、「NEDOロボット・AIフォーラム2016」を開催します。学术界、産業界の第一線で活躍中のキーパーソンから、ロボット技術、人工知能（AI）技術の社会実装に向けた課題や最新の取り組み動向について発表します。また、NEDOの新たな取り組みや支援制度について紹介します。

日時：2016年10月21日（金） 10時10分～16時40分

定員：500名

会場：東京ビッグサイト 東ホール メインステージ

入場料：無料

参加申込：以下の「Japan Robot Week 2016」事前登録サイトからお申込みください。

<http://biz.nikkan.co.jp/eve/s-robot/regist.html>

プログラム（予定・敬称略）	
10:10-10:15	開会挨拶 古川 一夫（NEDO 理事長）
10:15-10:20	来賓挨拶 経済産業省（調整中）
オープニングセッション	
10:20-10:45	基調講演 岡田 浩之（玉川大学）
10:45-10:55	弓取 修二（NEDO ロボット・AI部 部長）
ロボットセッション	
10:55-11:10	唐津 慎一郎（ソフトバンクロボティクス）
11:10-11:25	高本 陽一（テムザック）
11:25-11:40	河野 雅一（プロドローン）
11:40-11:55	滝野 一征（MUJIN）
11:55-12:10	中川 友紀子（アールティ）
12:10-13:00	（休憩）
13:00-13:15	西嶋 頼親（電通ロボット推進センター）
AIセッション	
13:15-13:25	関根 久（NEDO ロボット・AI部 統括研究員）
13:25-13:50	浅田 稔（大阪大学大学院）
13:50-14:15	麻生 英樹（産業技術総合研究所 人工知能研究センター）
14:15-14:40	西川 徹（Preferred Networks）
14:40-14:50	金山 恒二（NEDO ロボット・AI部 主任研究員）
14:50-15:10	（休憩）
社会実装セッション	
15:10-15:20	原 大周（NEDO ロボット・AI部 主査）
15:20-15:35	本田 幸夫（大阪工業大学）
15:35-15:50	宮本 和彦（NEDO ロボット・AI部 主査）
15:50-16:05	北河 博康（三井住友海上火災保険）
16:05-16:35	近藤 恵嗣（福田・近藤法律事務所）
16:35-16:40	佐藤 嘉晃（NEDO 理事）

オープニングセッション



岡田 浩之

玉川大学 教授
NEDO ロボット・AI部
アドバイザー

基調講演：

「AI」と「ロボット」が創る未来

玉川大学教授、博士（工学）。ロボティクスと認知科学をフィールドに、学習、思考、意思決定といったヒトに特有の機能をロボットで実現することに取り組む。著書に「新・人が学ぶということ」（北樹出版）、「なるほど!赤ちゃん学—ここまでわかった赤ちゃんの不思議」（新潮社）など。2008年、2010年とロボカップ世界大会@ホームリーグで二度の世界チャンピオンに輝く。ロボカップ日本委員会専務理事、日本赤ちゃん学会常任理事。



弓取 修二

NEDO ロボット・AI部
部長 兼 AI社会実装推進室長

講演：

NEDOのロボット・AI分野への取り組み

2001年NEDOに入構。蓄電技術開発室長、バイオ・医療部統括研究員などを経て2014年4月からロボット・機械システム部長。組織再編に伴い、2016年4月よりロボット・AI部長。博士（工学）。

ロボットセッション



唐津 慎一郎

ソフトバンクロボティクス株式会社
統括部長

講演：

ソフトバンクのロボットビジネス

ゲームメーカーなどを経て2008年ソフトバンクモバイルに入社。主に移動体通信事業向け商品企画業務に携わる。ロボット事業始動時よりプロダクトマネージャーとして参加し、2014年のPepper発表後にプロジェクトを離れ、移動体通信事業向けのプロダクト戦略部長を務めたのち、2016年より再びソフトバンクロボティクスで日本国内のコンシューマ事業およびエンタプライズ事業の推進に取り組んでいる。



高本 陽一

株式会社テムザック
代表取締役

講演：

ユニバーサルヴィークル・ロデムの進化でロボットが身近な存在になってくる

2000年に(株)テムザック創業、CEOとして様々なロボット開発に携わる。「人間に出来ないことや人間にとって危険な作業が出来るロボットを創り出すこと」を開発の基本としている。国内外の多くのロボット研究者とオープンの開発ネットワークを築き、実社会で役立つロボットを数多く生み出している。



河野 雅一

株式会社プロドローン
代表取締役社長

講演：

Aerial Robotics
産業用ドローンの新しい方向性
「直接作業型ドローン」について

株式会社プロドローン
代表取締役社長
株式会社システムファイブ
代表取締役社長
株式会社プロニュース
代表取締役社長
株式会社コノックス
代表取締役社長



滝野 一征

株式会社MUJIN
CEO 兼 共同創業者

講演：

MUJINコントローラが広げるロボット市場

米国大学を卒業後、ウォーレンフェットが保有し、製造業の中でも世界最高の利益水準を誇る事で有名なイスカル社でキャリアをスタート。現場で生産方法を提案する技術営業として賞も獲得するなど、多くの実績を残す。その後世界的ロボット工学の権威のRosent博士と出会い、MUJINを設立。滝野の現場力Rosent博士の技術力の融合が、MUJINがベンチャーにとっては難しい製造業という分野で躍進を続けている原動力になっている。



中川 友紀子

株式会社アールティ
代表取締役

講演：

Work with Robots
~協働型ロボットアームの開発にむけて~

1971年生まれ
1995年法政大学大学院修士課程修了工学修士
1995年東京工業大学 大学院総合理工学研究科 助手
1998年科学技術振興機構ERATO 北野共生システムプロジェクト研究員
2001年日本科学未来館展示サブリーダー
ロボットベンチャー等を経て2005年株式会社アールティを創業
2006年初自社製品発売開始
2015年 世界で知るべきロボット業界の女性25人に選出
(ロボハブ シリコンバレーロボティクスのWEBメディア)



西嶋 頼親

電通ロボット推進センター
チーフロボットプランナー

講演：

コピーライターがロボットプランナーになった理由

経済産業省ロボット国際競技大会実行委員、総務省／情報通信審議会／技術戦略委員会／人工知能・ロボット部門アドホックメンバー、電通コピーライター。トヨタ自動車、東京大学先端科学技術研究センター等との共同プロジェクト、「ロボット宇宙飛行士KIROBO」プロジェクトマネージャー。2015年慶應義塾大学大学院修了 (Master of System Engineering) 2014年フランス国立理工科大学客員研究員。



関根 久

NEDO ロボット・AI部
統括研究員

講演：
我が国の人工知能技術開発について

現職：ロボット・AI部 統括研究員、
「次世代人工知能・ロボット中核技術開
発」プロジェクトマネージャー（PM）
経済産業省 工業技術院 大型プロジェクト
室、産業機械課、JETROシカゴセンター、
自動車課、地域技術課、初代JEITA北京事
務所長、情報家電戦略室長 兼 環境リサイ
クル室長、前職はNEDO電子・材料ナノテ
クノロジー部統括研究員 兼 技術戦略研究
センター新領域ユニット長、電子・情報・
機械システムユニット長。



浅田 稔

大阪大学大学院
教授

講演：
未来のAI・ロボット

1953年生まれ。大阪大学大学院修了。
工学博士。大阪大学助教授等を経て現職。
ロボカップ創設者・プレジデント('02-
'08)。NEDO「次世代ロボット中核技術
開発(AI分野)」採択審査委員長。



麻生 英樹

産業技術総合研究所
人工知能研究センター
副研究センター長

講演：
NEDOプロジェクトにおけるAIRCの活動概要

1981年東京大学工学部計数工学科卒業。
1983年同大学院工学系研究科情報工学専攻
修士課程修了。
同年通商産業省工業技術院電子技術総合研
究所（現 独立行政法人産業技術総合研
究所）入所。
1993年から1994年ドイツ国立情報処理研
究センター客員研究員。
現在、独立行政法人産業技術総合研究所情
報技術研究部門主任研究員。
学習能力を持つ知的情報処理システムの研
究に従事。
電子情報通信学会、人工知能学会、日本神
経回路学会、行動計量学会、各会員。



西川 徹

株式会社 Preferred Networks
代表取締役社長

講演：
IoTのエンジンとなるディープラーニング

IPA2005年上期末踏ソフトウェア創造事業
「抽象度の高いハードウェア記述言語」開
発代表者。
2006年第30回ACM/ICPC世界に出場し、
その仲間と共にPreferred Infrastructure
を設立。
2007年東京大学大学院修了。2013年情
報処理学会ソフトウェアジャパンアワード受
賞。
2014年Preferred Networksを設立、代表
取締役兼最高経営責任者を務める。



金山 恒二

NEDO ロボット・AI部
主任研究員

講演：

AI 社会実装の取組について

1998年NEDO入構。2005年～2011年機械システム技術開発部にてロボットプロジェクトに従事。2011年～2014年バンコク事務所、2014年～2016年技術戦略研究センター企画課を経て、2016年6月から現職。

社会実装セッション



原 大周

NEDO ロボット・AI部
主査

講演：

World Robot Summit の概要

専門は電気化学及び無機材料。2011年までは主に当該分野に関する研究開発プロジェクトに従事。その後、2015年末まで南アジアにおける省エネルギー等の海外実証事業に従事。



本田 幸夫

大阪工業大学
教授

講演：

ロボットビジネス創出人材育成

1989年松下電器産業（現パナソニック）入社、高効率モータの開発、海外会社事業経営、生活支援ロボットの事業化を担当。2013年大阪工業大学工学部ロボット工学科教授、大阪大学医学系大学院招聘教授、アルロボット株式会社代表取締役、現在に至る。



宮本 和彦

NEDO ロボット・AI部
主査

講演：

**ロボット性能評価手法等の研究開発とテスト
フィールドの活用**

2015年10月よりNEDOへ出向。「インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト/ロボット性能評価手法等の研究開発」を担当。



北河 博康

三井住友海上火災保険株式会社
上席課長

講演：

**次世代ロボットのリスクに備える保険の現状
と課題**

1992年4月三井海上火災保険株式会社（現三井住友海上火災保険株式会社）入社。名古屋の営業、本社の販売企画部門、保険商品・サービス開発部門等を経て、2011年4月より現在の公務開発部に配属される。同時にロボットビジネス推進協議会に参画し、2013年より保険構築WG主査を四期連続で務め、次世代ロボット普及に向けた取組を強力に展開中。



近藤 恵嗣

福田・近藤法律事務所
弁護士

講演：

ロボット技術と法律

1951年生まれ、1974年東京大学工学部卒、1979年司法試験合格、1982年工学博士（東京大学）、1984年弁護士登録（東京弁護士会）、弁護士としての得意分野：知的財産法、日本機械学会法工学専門会議において、講演、模擬裁判などで活躍、新技術活用のための法工学（2016、民事法研究会）編著。